

ちよん 青年部通信

皆さんカッコ良く仕事したいですよね～、そのために必要なモノは何でしょうか?ずばりシザーケースじゃないですか!?本革のカッコいいシザーケース欲しくないですか!?ディーラーさんのカタログ眺めても量産型ばかりで、独創性に溢れたケースありませんよね。だからといってオーダーメイドで作ると高いんですよね～。ならどうします?自分で造るしかなくないですか!?

というわけで、不定期開催「シザーケースを造ろう」開講です。私自身シザーケースを革細工店にオーダーメイドで作ってもらったのですが、正直いいお値段でした。流石にモノは良い出来で14～5年問題なく使っているのですが、最近クリップホルダーの縫い糸が切れてしまい、更には若かりし頃にチョイスしたデザインなので、少々辛くなって来ていました。「よし、自分で作ろう!」と思い立ち、紆余曲折あり、最近やっと本体が完成しました。後はコムケース・ベルトを造るだけ!ここまで数年がかりw この話はまた後日という事で。

今回は超シンプルなシザーホルダーとコムケースを作ってみましょう。コンセプトが超シンプルなので、日常使っているベルトをそのまま流用出来る構造にしていきたいと思います。

まず必要な物をピックアップしていきますと、

- ① 筆記具(家にあるモノで)
 - ② 定規(百円ショップで30cmくらいのを)
 - ③ 雲型定規(文具店に売ってる)
 - ④ カッターナイフ(百円ショップで大きいやつを)
 - ⑤ 彫刻刀(子供達のお下がり。あれば便利)
 - ⑥ カッティングマット(百円ショップで売ってる)
 - ⑦ 穴あけポンチ(百円ショップになければ手芸屋さんで)
 - ⑧ プラスチックハンマー(百円ショップかホームセンターで)
 - ⑨ ゴム板(百円ショップかホームセンターで)
 - ⑩ カシメ&カシメ打ち(手芸屋さんで)
 - ⑪ ホックボタン(手芸屋さんで)
 - ⑫ 薄手の滑り止め付き手袋(百円ショップで)
 - ⑬ 2～3mm厚の革A4サイズ(手芸屋もしくはオークションなど)
- (1) まず型紙が必要なので展開図を描いていきたいと思います。
 - (2) 型紙を切り取ったら革を選び上に乗せ、いい塩梅の場所を決め、大まかに切り取ります。
 - (3) 革を触る時は手袋をする事で汗油によるシミが付くのを防ぎます。
 - (4) 次に型紙通りに切り取ります。
 - (5) ゴム板を敷いて穴あけポンチで穴を開けましょう。
 - (6) 取り外し出来るようにバネホックを取り付けます。
 - (7) 下と穴がずれないように穴を開けます。
 - (8) ベルト掛けはホックボタンで取り外し可能に。
 - (9) サイドの止めはカシメを打ちます。

完成しました。1丁刺しのシザーホルダー&コムケースです。細かいクオリティー上げは色々あるのですが、また後日。底は開放にしてあるので、刈り毛が溜まる事もないでしょう。案外簡単でしょ?革の厚さは2～3mmが丈夫で長持ちしそうですかね。クリップホルダーとか刷毛ホルダーもあれば便利ですね。興味を持った皆さんもぜひやってみてください!

